

取るべき避難行動

地震 がきたら

「緊急地震速報が鳴った」「急な強い揺れを感じた」場合には、ただちに安全を確保する行動を取りましょう。地震時から直後に取るべき行動については、以下のポイントを参考にしてください。

グラッと来たら、 まず「身の安全」

- ・大きな揺れの中は、「何もできない」ことがほとんどであるため、自身の身を守ることに専念します。
- ・丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見ます。

窓や戸を開けて 出口を確保する

- ・揺れがおさまった時に、避難ができるように出入口を確保します。
- ・閉鎖空間(トイレなど)にいる場合は、揺れの最中でも目の前のドアを開けて、出口を確保します。(頭部は保護)

津波 がきたら

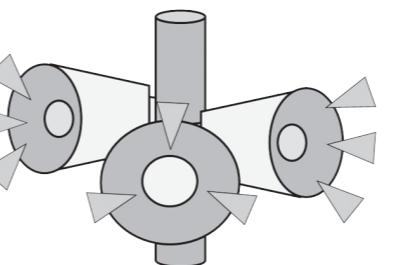
津波による災害が予想される場合には、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報が気象庁から発表されます。予想される津波の高さと取るべき行動は、以下の表を参考にしてください。

種類	予想される津波の高さ		取るべき行動
	発表基準(数値)	表現	
津波注意報	1m (20cm < 高さ < 1m)		海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れる。津波注意報が解除されるまで、海に入ったり海岸に近づいたりしない。
津波警報	3m (1m < 高さ < 3m)	高い	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や津波避難ビルなど安全な場所に避難する。
大津波警報 <small>※大津波警報は特別警報に位置づけられています。</small>	5m (3m < 高さ < 5m)	巨大	津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れない。
	10m (5m < 高さ < 10m)		ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難!
	10m超 (10m < 高さ)		

巨大津波による 未曾有の大災害

東日本大震災から10年

2011年3月のあの日から10年。今月は、地震・津波災害に関する防災情報について特集します。



地震のとき

事象	防災行政無線 放送内容
緊急地震速報 (震度5弱以上)	<p>【音】緊急地震速報チャイム 「緊急地震速報。大地震(おおじしん)です。大地震(おおじしん)です。」 ×3回</p> <p>「こちらは、防災いとまんです。」</p> <p>【音】下りチャイム</p>

※「緊急地震速報」とは、気象庁によって、地震の発生直後に各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。現在の地震予測には限界があり、強い揺れの到達に間に合わない場合や、予測された震度に誤差を伴う場合もあります。

津波のとき

津波は、注意報から「消防サイレン」が鳴ります!

事象	防災行政無線 放送内容
津波注意報	<p>【音】消防サイレン(10秒×2回) 「津波注意報が発表されました。海岸付近の方は注意してください。」</p> <p>「こちらは、防災いとまんです。」</p> <p>【音】下りチャイム</p>
津波警報	<p>【音】消防サイレン(5秒×2回) 「津波警報が発表されました。海岸付近の方は高台に避難してください。」</p> <p>「こちらは、防災いとまんです。」</p> <p>【音】下りチャイム</p>
大津波警報	<p>【音】消防サイレン(3秒×3回) 「大津波警報が発表されました。海岸付近の方は高台に避難してください。」</p> <p>「こちらは、防災いとまんです。」</p> <p>【音】下りチャイム</p>
大津波警報 (東日本大震災クラス)	<p>【音】消防サイレン(3秒×3回) 「大津波警報。大津波警報。東日本大震災クラスの津波がきます。」</p> <p>「ただちに高台に避難してください。」</p> <p>「こちらは、防災いとまんです。」</p> <p>【音】下りチャイム</p>

※全国瞬時警報システム(Jアラート)と連携した自動起動による防災無線の音声については、コミュニティFMラジオ放送のFMたまん(76.3MHz)においても割込放送が実施されます。

※聞き取れなかった場合などは、糸満市防災行政無線応答ダイヤル(098-994-4566)にて、24時間以内の放送内容が確認できます。